

10月4日：出来高が増加し、VN 指数は反発

建設資材関連株が買われ、VN 指数は反発した。

一方で銀行株は引き続き軟調で、マーケットの重しとなった。

ホーチミン、ハノイ市場の出来高は急増した。

しかしこの時期の情報の乖離から、短期的に VN 指数は一進一退の動きが続く可能性がある。

本日、株価指数は堅調な値動きを見せた。具体的には VN 指数が 0.35% 高の 1,339.54 ポイント、HNX 指数が 1.23% 高の 360.89 ポイントでそれぞれ取引を終えた。

外国人投資家はホーチミン市場で 3,430 億ドン以上を売り越し、ハノイ市場では約 5 億ドンを売り越した。

VN 指数の一日の値動きを見ると、小幅高で始まった後、狭いレンジで推移、そのままプラス圏で取引を終えた。

同指数は午前中にいったん下げる場面があったが、水産加工、公益関連株の上昇に支えられ、その後はゆっくり値を戻した。午前の終値は、6.5 ポイント高の 1,341.39 ポイントだった。

午後の取引では取引開始直後に買われ、VN 指数は約 13 ポイント上昇した。

しかしその後は、大引けにかけて上げ幅を縮め、最終的には 4.65 ポイント高でこの日の取引を終えた。

また VN30 指数は VN 指数に比べ上昇率は低く、0.12% 高の上昇に留まった。

VN30 指数の組入銘柄のうち、ホアファットグループ (HPG)、ペトロリメックス (PLX)、PV パワー (POW) は 4% 近く上昇、バオベトホールディングス (BVH)、ベトナムゴム工業グループ (GVR)、ベトジェットエア (VJC)、FPT グループ (FPT) はそれに続いた。

その一方で、銀行株は軟調な動きとなった。ヴィエティンバンク（CTG）は3.5%安、HDバンク（HDB）は3%安と、それぞれ大きく売られた。

ユナイテッド・オーバーシーズ銀行（UOB）は、2021年のベトナムのGDP成長予想を3%に引き下げた。

通年の経済成長に対する悲観的な見通しを受け、銀行株は下げた。

銀行セクターの業種別指数は1.24%安で16銘柄が下落、1銘柄が変わらず、2銘柄が上昇した。

大手銀行株のベトコムバンク（VCB）、テクコムバンク（TCB）、VPバンク（VPB）、軍隊商業銀行（MBB）、アジア商業銀行（ACB）は1%を超える下げとなった。

中堅銀行もほとんど売られ、1~2%と値を下げた。

軟調な銀行セクターに対して、近いうちにホーチミン市場への市場変更が伝わったサイゴンハノイ銀行（SHB）はこの日8%の大幅高となった。

サイゴンハノイ銀行は、10月5日にハノイ市場での取引最終日を迎える。

建設資材セクターの業種別指数は3.58%高と、この日最も上昇した業種となった。

ホアファットグループ（HPG）は、同社の9月の鉄鋼輸出量が過去最高の約50,000トンに達したというニュースが好感され、4%近く上昇した。

同業他社のホアセングループ（HSG）が+4.06%、ナムキム鉄鋼（NKG）が+6.7%とそれぞれ買われた。

石炭銘柄の多くがこの日ストップ高をつけた。世界的なエネルギー価格の高騰を受け、石炭価格が過去最高値を付けたことが株価上昇の追い風となった。ビナコミン・バンザイン石炭（TVD）、ビナコミン・ハラム石炭（HLC）、ビナコミン・ヌイベオ石炭（NBC）、ビナコミン・コックサウ石炭（TC6）、ビナコミン・デオナイ石炭（TDN）といった銘柄が買われた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。